



# 会報

DISTRICT 353  
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

## 鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB  
OF TSURUOKA



ス キ ー

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひ さ ご や  
例会日 毎週火曜日 PM 12:30 - 1:30  
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内  
電話 0235 (2) 5775

会 長 鈴 木 善 作  
幹 事 高 橋 辰 美

### Renew the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

第793号 1975.2.25 (火) (曇) No.33

会報はご家族みんなで読みましょう

#### ◆出席報告

##### 本日出席

会 員	数	66名
出 席	数	49名
出 席	率	74.24%

##### 前回の出席

前 回	出 席 率	72.73%
修 正	出 席 数	57名
確 定	出 席 率	86.36%

##### 欠 席 者

阿宗君、安藤君、早坂(源)君、飯白君、板垣君、黒谷君、嶺岸君、男網君、中江君、斎藤(信)君、佐藤(正)君、佐々木君、菅原君、高橋(正)君、高橋(良)君、富樫君、藪田君

##### ムークアップ

五十嵐(伊)君、佐藤君一酒田RC  
進藤君一酒田東RC  
市川君、海東君、嶺岸君、森田君  
一鶴岡西RC  
佐藤(正)君、中江君一台湾RC

#### ◆ビジター

菅沢久弥君、阿部光男君、半田茂弥君  
一鶴岡西RC  
鈴木武弥君一余目RC

- ◆点 鐘 12.30 会 長
- ◆ロータリーソング 奉仕の理想
- ◆本日のビジター紹介 S.A.A
- ◆歓迎のことは 会 長
- ◆会長報告
- ◆幹事報告
- ◆ロータリー70周年に際して  
石黒分区代理
- ◆他 委員会報告

#### ◆会長報告

1. 交換学生バーバラ嬢の宿舍、2月2日より西クラブの栗本敏直宅(平京田字大塚島田7号線 ダイワ家庭家具販売の社長宅)に移られます。  
石黒君には昨年12月より2月まで、丁度冬季の寒い時期にお願い、大変御苦勞様でした。皆様に代って厚く御礼申し上げます。それから1月23日より3月2日迄の1週は石黒君のお計いで、東京見物に参られて居ります。是れは石黒君の大サービスであります。誠に有難いことです。
2. 去る2月19日12時41分「いなほ2号」にて台中港ロータリークラブ表敬訪問旅行団

当クラブより佐藤忠副会長、今野成行国際奉仕委員長、三井健君、小松広穂君、小池繁治君、藪田誠樹君、板垣俊次君の以上7名、外西クラブより栗本敏直君外2、3名が元気で参られました。2月25日日本朝無事帰国されました。後程今野委員長より御報告願います。

3. 19日見送りに鶴岡駅に参り鶴岡ロータリー及び鶴岡西クラブの表示板見えないので駅長に会い問い合せた処、前助役に電話して事務室の金庫の裏にあると尋ねた処、ありました。何んか案内図出来次第かけますと、それから前からのロータリー傘は全く無く、あれでは社会奉仕委員会の方々御考慮お願い致します。

それから三井賢二君の会長時代と気憶して居りますが鶴岡公園の噴水3基の処2基となって居った様でした(昨年)。お聞き致しました。

4. この間(2月19日)庄内日報に皆様御承知の通り、国際ロータリー創立70周年記念日、庄内分区8クラブの事業計画等が書かれて居りました。小野寺清君に感謝申し上げます。
5. 台中港区ロータリークラブとの姉妹クラブ結盟式に会長代理として阿部襄先生にお願い致しましたので、阿部先生より御挨拶お願い致します。

#### ◆ロータリー創立記念日に当って

分区代理 石黒慶之助君

2月23日は今より70年前の1905年、シカゴにおいてポール P. ハリス等が初めてロータリーを創立した記念日であります。今年は丁度創立70周年を迎えることとなり、世界中のロータリアンが、創立当時のロータリーを忍び、現在の発展を喜び、更に将来への飛躍を期待する佳き日であります。

毎年当クラブにおいてはベテランロータリアンにより記念講演を行われ、ロータリー発展の経過を詳細に解説されて参りましたが、今回はチャーターメンバーでもない経験の浅い私にご指名を受けてしまいました。まことに光栄とは思いますが荷が重すぎて戸迷って居ります。

私の貧弱な知識を申し上げても致し方ないとあきらめました。それで今回はまことに浅越であります。私自身のロータリー生活10数年を顧み、また自分なりの反省やロータリーへの考え方など率直に申し上げ、更に鶴岡R Cの運営方法などについても初心にかえて考えて見たいと思います。創立70周年のスピーチとしてはふざわしくないかも判りませんが敢えてお許しを願います。

私自身についても大いに反省しなければならぬと思っています。それは能力も無いのに茲4～5年の間、特別代表やら大会幹事、分区代理と矢つぎ早々に要職についていることでもあります。これは光栄ではありますが、実力以上に背のびして苦勞するので自分にとって不幸であるばかりでなく、ロータリー発展にとってもご迷惑をおかけしているのではないかと恐縮しています。私自身のことで申し訳ありませんが。

私の入会当時を顧みれば、その当時48才位だったと思いますが物慾、食慾、色慾も旺盛であり、悩み迷いの多い反面、人生に空虚をおぼへ何か頼りどころのほしい気の弱い人間であったようです。現在も変わりばえしていませんが、ロータリークラブに入ったらもう少し取柄のある人間になれるのではないかと、或は職業上にも何かプラスになるだろうと考えたぐらいであり、奉仕活動の重要性など全く無関心であったように記憶しています。ただ例席に出席することで精一杯でした。それも2代目の会長三浦の叔父に怒られないための出席だったようでありました。今から考えればロータリーを冒瀆するような不良会員であったわけですから。

そのうち会報委員長に指名されたり、理事となり会長を経験するようになり、先輩より“ロータリーでは役職を指名受けたら、これを断ることは出来ない”と教え込まれ、非常に抵抗を感じながらも“1ヶ年だけなら致し方ない、出来るだけのことはやって見よう”とあきらめたり、勇気を出したり曲りなりに勤めて参りました。これは皆様の暖かい友情のおかげであります。

10数年のロータリー生活は無駄ではなかったと思います。精一杯の奉仕活動でありましたが私のかくれた才能を活用させていただき眠っていた善意を呼び起してくれたと思います。ロータリーは素晴らしい人間形成の機関であると感謝しています。しかしながらロータリーと言う超我の奉仕とか献身専念の人となるには道が遠く、私の生涯かかっても到達出来ない高嶺の花のように思います。

吾がクラブは今年も素晴らしい活動を行っています。例えば交換学生の受け入れ、鶴岡工高生徒の渡米支援、RAC拡大育成等を行い、更に鶴岡工高にICを新たに創設、或は台中港R Cとの姉妹クラブ締結、財団奨学生菊地君の派遣など、銑錬されたロータリー活動を行いつつあります。洵に立派なクラブだと思えます。

然し乍ら、より良い発展を期待するならば常に反省を試みねばならないと思えます。吾々は過去の赫々たる業績に甘んじ優越感を持

っていないでしょうか？ 奉仕活動は軌道にのっている反面、情性に流れていないか？ ロータリーに精通するベテランロータリアンが多くなり新人の活動にブレーキをかけていないか？ 批判力が先きに立ち実行力に欠けることはないだろうか？ 等の種々な反省があると思います。

○先ず初心にかえて『ロータリーとは何か』355地区 前原勝樹PGの著書「ロータリー入門書」によれば『ロータリーの終局の目的は人間関係を改善することによって、より良い社会を創り、平和な世界を築くために貢献することにある』と説明されています。

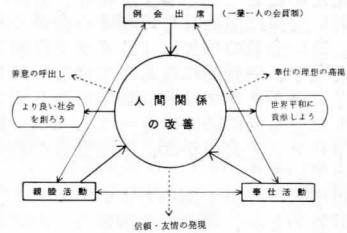
そして『人間関係の改善のためには一人一人の人間の善意を呼び起し、奉仕の理想を発揚する必要があります。そしてこの奉仕の精神は人間同志が深い信頼と友情によって結ばれた時に初めて発揚出来るものでありますからロータリー運動の出発点は親睦活動によることを確認いたします。この親睦活動の実は最も効果的にあげられる方法として職業分類による一業一人の会員制によってクラブを組織します。そして例会出席によって親睦が生まれそれから奉仕の理想が高揚されるのであります。例会の一時間は楽しみながら訓練をうけられるロータリー独特の集会と言えましょう。

こうして生れた奉仕の精神を実践に移すにあたっては、会員の誰でもが職場という身近な舞台を持っております。ここに職業奉仕が生まれます。しかもこの職業奉仕こそがロータリーの本質であり、また社会奉仕、国際奉仕の出発点となります。

ただ留意したいのはロータリークラブが行なう奉仕活動はそれ自体が目的であるよりはむしろロータリアンに奉仕の地実訓練させる機関であるといえましょう。従ってロータリ

ークラブは奉仕団体とみるよりも、奉仕を志す者の集まりであり、これら同志に奉仕を實踐する勇氣と便宜を与えるものである』と述べられています。

### ロータリーとは何か



- 最も身近な奉仕活動は職業奉仕であり、次に社会奉仕であり国際奉仕である。
- ロータリークラブは奉仕団体というよりは奉仕を志す人々の集団であり、クラブは奉仕への地実訓練の機関である。従って真の大奉仕は会員個人個人が行うべきものである。
- ロータリーは奉仕活動を通し個人のかくれた才能、ねむれる善意を呼び起す研修機関である。

(355地区 前原勝樹PG著

「ロータリー入門書」より要約)

### ○クラブの運営についての初歩的提案

去る1月29日庄内分区の会長・幹事会を開催し、前半期の活動並びに後半の計画などにつき早坂バスターガバナーのご指導のもと横の連絡を行いました。その成績の一部として各クラブの会員数、出席率、財団寄付についての一覧表をかかげてみました。

### 国際ロータリー第353地区 山形県庄内分区、各クラブの会員数 出席率 財団寄附について

1975.1.29 会長、幹事会資料

(1974.7.1~12.31 前半期)

活動種別	クラブ名	鶴岡	酒田	鶴岡西	酒田東	遊佐	余目	温海	八幡
会員数	49.7.1 会員数	68	39	37	41	37	33	39	25
	前半年期 新入会員数	0	4	3	6	4	2	6	1
	退会者数	1	1	2	5	1(死亡)	2	0	0
出席率 %	49.12.31 会員数	67	42 +3	38 +1	42 +1	40 +3	33	0	45 +6
	後半増強予定数	5	3	7	4	1	5	0	2
	7月	1095.59	6785.42	4988.86	6387.50	(1)100.00	2394.20	(6)88.72	(1)100.00
出席率 %	8月	6990.81	6380.65	5087.82	6780.81	(1)100.00	6385.76	(4)87.82	(1)77.69
	9月	6991.54	6982.06	6187.50	4989.53	(1)100.00	2594.00	(1)100.00	(1)100.00
	10月	4789.71	6083.50	6288.75	4889.44	(1)100.00	2394.85	(1)100.00	(2)97.00
	11月	90.44	85.81	83.83	90.12	100.00	87.65	83.84	97.00
	12月	89.64	84.21	86.93	86.73	100.00	97.62	85.10	100.00
	1財団標準	クラブ年度初寄附%	1500	200	800	600	300	200	200
財団標準	ボールハリスフェロー数	1500	300	-900	+500	100	+400	700	300
	フェロー数	(4)	0	1	1	0	0	2	0
	標準フェロー数	3	0	3	(13)	12	3	1	0

この表により分区内各クラブの動勢がうかがわれます。

私は自分の経験から鶴岡ロータリークラブの発展のために極めて初歩的な2、3の提案を試みたいと思います。

先ず第一には、**会員増強には若い人々を沢山迎えたいこと**であります。現在、分区内で最も若い会員は温海RCの28才の会員であります。若い会員の増加によりクラブは新しい感覚となり、活動的になるのではないのでしょうか？ 吾がクラブは創立16年になり50才で入会した方も既に66才になってしまいました。現在シニア会員が26、同全会員の約40%となっています。

会員増強は無限であってよい筈であり、会場の収容力とか、親睦性の困難などの問題は英知によって解決出来るものと信じます。吾がクラブ10年後の発展を考え是非共20才、30才代の青年を会員に迎えることを提案致します。

第2には**新しい会員にクラブの重要な役職につけて頂きたいこと**であります。かくされた善意や知られない能力を引き出すのに奉仕活動に責任を持って頂くことが最も良い方法ではないでしょうか？ 換言すればロータリーのルールを早くおぼえていただくことです。ベテランロータリアンによりいくら教え込まれても、やる気が起きねば他人事のように聞き流すだけになりましょう。入会后2～3年も放って置かれてはどんなに有能な方もロータリーに意欲を失うかも知れません。早く仕事をやっていただくことがロータリーを理解する近道だと思います。40才代の会長が現われるよう期待したい。次期役員は既に内定して居りましょうからその変更は今からでは無理でしょうが各委員会において新会員には特に何か責任のある任務を与えていただくよう御配慮願いたいと考えます。

第3の提案は**各委員会の炉辺会談、ファイアースイド・ミーティングの開催**であります。

最近私共は会長・幹事或は委員長にのみ仕事をまかせた大多数の会員は遊んでいないのでしょうか。ロータリー活動の源は私共個人個人の奉仕活動が最も重要だとされています。ロータリアンは一人一人が善意を持っています。そして何かお役に立ちたいと考えておられましょう。その善意を引き出し、かくれた才能を引き出して下さるのが会長・幹事であり委員長であるかと思えます。その最もよい方法がファイアースイドミーティングではないのでしょうか。

各委員会は小人数であり、全員が自由に勝手な意見を発表出来る場があります。5分や10分間の場当りの会合ではなく一晩ゆっくり

かかって話し合う機会がほしいわけです。委員長はご苦勞ですがご自宅を提供し、或は各委員のお宅で廻り番で屢々委員会をお開きになっては如何でしょうか。お茶とお菓子があれば充分であります。稀にお酒が出れば尚更結構であり、親睦が深まり良い考えも煮つまって参りましょう。ロータリーでは毎年委員長が交代されます。誰でもみんなが委員長になりますので、ご恩返しは必ず廻ってまいります。御馳走になってもお邪魔をしてもそんなに気にしなくともよいのです。好意と友情を深め合う同志であります。

そして委員長は会合の内容を簡単にまとめ理事会へ提案し、クラブ運営に総意を反映させて行くならばクラブの発展は更に躍進するものと考えます。ロータリー創立70周年の記念日に当り、日頃考えている提案を述べさせていただきます。身のほどをわきまぬ傲慢なスピーチになってしまいました。お許し願います。

昭和50年1月

鶴岡ロータリークラブ殿

NHK鶴岡放送局

局長 佐々木 敏 全

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素NHK放送事業につきましましては、格別のご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、NHKとNHK厚生文化事業団ならびに中央共同募金会の主催で実施いたしました「第24回NHK歳末たすけあい」が昨年12月25日をもって終了いたしました。

おかげ様でこの間 418,521円の暖かい義援金が鶴岡放送局によせられ、山形県共同募金会を通じ、恵まれない方々と施設に贈られました。

皆様のご厚情に心からお礼申し上げますとともに、今後ともご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。 敬具

「第24回NHK歳末たすけあい」の12月配分は県内の「在宅重障身心障害児者」の方に対して行われました。

その他配分は2月中旬に決定の予定です。

NHK鶴岡放送局

スピーチ等には要旨で結構ですので、原稿を会報委員会にお渡し下さいます様重ねてお願い致します。御協力下さい。